

(19) 馬術競技

- 1 期 日
平成26年 5月31日(土)～平成26年 6月 1日(日)
- 2 会 場
水沢競馬場内馬術馬場(奥州市水沢区姉体町阿久戸)
- 3 日 程
競技種目及び実施要項

月日	競技番号	競技種目	基 準	
5 月 31 日 (土)	第1競技-1	成年男子総合(馬場)	FEI2009総合馬術競技 馬場馬術競技課目ツースターB	(予)(得)
	第2競技	馬場馬術競技	JEF 馬場馬術競技M1課目2013	(得)
	第3競技	成年男子馬場馬術競技	FEIセントジョージ賞典馬場馬術課目2009	(予)(得)
	第4競技	成年女子馬場馬術競技	FEIセントジョージ賞典馬場馬術課目2009	(予)(得)
	第5競技	少年馬場馬術競技	ジュニアライダー個人競技馬場馬術課目2009	(予)
	第1競技-2	成年男子総合(障害)	H1.2mW1.4m以下、12障害以内 11障害以内 速度350/分、全長500m	(予)(得)
	第6競技	成年女子S&H競技	基準表CH1.1mW1.4m以下、12障害以内	(予)(得)
	第7競技	少年S&H競技	基準表CH1.1mW1.4m以下、12障害以内	(予)
6 月 1 日 (日)	開会式(午前9時より)水沢競馬場 馬術競技(雨天時は、競馬場内車庫)			
	第8競技	低障害飛越競技	基準表A239-C H0.7m W0.9m 10障害以内	(得)
	第9競技	小障害C飛越競技	基準表A239-C H0.8m w1.0m 10障害以内	(得)
	第10競技	小障害B飛越競技	基準表A239-C H0.9m W1.0m 10障害以内	(得)
	第11競技	障害飛越競技A-1	基準表A238-2.2 H1.0mW1.2以下、13障害以内 オクサーは段違	(得)
	第12競技	障害飛越競技A-2	基準表A238-2.2 H1.0mW1.2以下、13障害以内 正オクサーあり	(得)
	第13競技	中障害D障害飛越競技	基準表A238-2.2 H1.1mW1.3以下、13障害以内	(得)

※ 下見は競技開始15分前で10分間とする

※ (予)は東北総合体育大会の予選種目。(得)は市町村対抗の得点競技。

- 4 競技規定
この競技会は「日本馬術連盟競技会規定」最新版、並びに国民大会馬術競技会規程(第68回東京大会版)を適用する。
- 5 参加資格及び制限
- (1) 岩手県馬術連盟の平成26年度登録者であること。但し、学馬連並びに高馬連に登録された者も含むものとする。
 - (2) 少年は平成8年4月2日以降平成12年4月1日までに生まれた者とする。
 - (3) 同一人馬1競技1回限りとする。
 - (4) いずれの競技も出場者が2名未満の場合は実施しないが、予選競技はその限りではない。
 - (5) 予選種目に参加する選手は、各種別内での出場とする。
 - (6) 予選種目に出場した同一人馬でも、13競技の出場を認める。
 - (7) 第8、9、10競技に出場した同一人馬は他の競技に出場できない。
 - (8) 第2、8、9、10、11、12、13競技のオープン参加を認める。
 - (9) 当日の追加エントリーは認めるがオープン参加とする。
 - (10) 申込後の変更は選手打合せ会までに申請し、選手打合せ会で決定する。
 - (11) 得点競技のみの出場もできる。

6 参加料

- (1) 参加料は開要項総則により、処理すること。
- (2) 馬術競技参加料（県馬連納入分）1人一種目 2,000円、少年は半額とする。（競技参加料は、参加申込書と同時に岩手県馬術連盟に直接納入のこと。）
- (3) オープン参加は、1回 3,000円とする。

7 参加申込方法

- (1) 様式にしたがって市町村の責任者がとりまとめのうえ提出のこと。
- (2) 〔申し込み先〕

〒023-0841 奥州市水沢区真城字中河原2番地 水沢競馬場2階建厩舎
岩手県馬術連盟（担当：菅原）Tel 0197-24-7748

〔申込期限〕

平成26年5月16日（金） 必着

〔振込先〕

岩手銀行 水沢支店 普通 0065518 名義 岩手県馬術連盟 会長 阿部 和司

8 成績決定方法

市町村対抗として総得点により、順位を決める。同点の場合は上位入賞の数により順位を決める。

9 表彰

各種目3位まで賞状を贈る。

10 その他

- (1) 競技運営は岩手県馬術連盟で委嘱する競技役員で行う。
- (2) 馬の入厩は、平成26年5月30日（金）8時30分より、退厩は平成26年6月1日（日）19時までとする。
- (3) 退厩に際しては、厩舎内外を必ず清掃のこと。
- (4) 選手打合せは、平成26年5月31日（土）午前8時30分より岩手県馬術連盟厩舎で行う。
- (5) 競技種目の日程及び開始時間は変更される場合がある。
- (6) 岩手県競馬組合の行政財産を使用するので、許可以外の場所への立入は禁止する。又、競走馬調教に支障のないよう十分に注意のこと。
- (7) 防疫

ア 競技参加馬は馬体特徴の記載と馬伝染性貧血検査を平成25年1月1日以降に受け陰性である証明書が記載された健康手帳持参すること。

イ 馬インフルエンザ予防注射については、基礎免疫については21日以上2カ月以内、（平成20年3月31日以前は2週間以上2ヶ月以内）の間隔で2回接種後、7ヶ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は1年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。今回の入厩に当たっては6ヶ月+21日以内に補強接種（または、基礎接種の2回目）を受けていなければならない。

11 東北総体・国体人馬選出方法

- (1) 東北総合体育大会出場人馬の選出について

ア 東北総体・国体の参加意志確認書（様式1）により、登録された選手・馬匹の中から選出する。

イ 各種別（成年男子、成年女子、少年）と種目により上位2名以内の者から割当数に応じて監督が選出する。但し、権利者が重複して権利を得た場合は、次位の者より選出する。

ウ 馬の選出については、権利獲得者がこれを指名し、監督が調整する。但し、馬場馬術は2頭以内とする。

エ 団体競技は、少年標準障害飛越競技の1位と少年S&H競技の1位（重複した場合は、次位の者）の選手と監督推薦による人馬を持ってチームを編成する。

(2) 国民体育大会出場人馬の選出について

選手の選出については、東北総体の個人競技成績の上位により割当数に応じて順次決定する。但し、同順位者が重複した場合には、標準障害飛越競技出場者を最優先権利者とし、成年女子は以下、二段階障害飛越競技の準に選出することとする馬匹の選出については権利獲得者がこれを指名する。但し、予選競技に出場していない馬匹を指名する場合は、参考（競技成績等）資料を提出し、監督と協議のうえ決定する。

覚え書き

- 1) 予選競技に参加する人馬は、東北総体・国体に参加できる人馬でなくてはならない。
- 2) 馬匹の選出については、権利獲得者、監督及び強化委員会で出場種目を考慮のうえ選出する。
- 3) 予選競技に出場した馬匹が東北総体・国体の出場馬に指名された場合は協力しなくてはならない。
- 4) 予選競技に出場していない馬でも過去の競技成績を考慮して、東北総体・国体の馬匹として選出することができる。